

# 大分工高の水車「優秀賞」

【大分】大分市の大分工業高の生徒が取り組む「DAIKO水車プロジェクト」のイカダ型水車が文部科学省や特許庁、日本弁理士

会主催の「パテントコンテスト」で優秀賞に選ばれた。本年度は県内から1校だけ。特許出願に向けて弁理士と準備を進める。

## 文科省など主催のコンテスト

## 特許出願の支援対象に

コンテストは高校生や高専生、大学生に発明や知的財産について興味を持って

もらうことが目的。出願に専ら、大学生に発明や知的財産について興味を持って

願料などを主催者が全額支援した。

援する。本年度は全国から521件の応募があり、30件が出願支援対象の優秀賞に選ばれた。

プロジェクトは今年5月に発足。機械、電子向科の1、2年生10人が街灯の少ない通学路を小水力発電でともそうと開発を進めてきた。試作と実験を重ね、小さな滝の水流をエネルギーにすることができたイカダ型水車を製作した。

メンバーは同校で7月に開講した「発明家養成講座」に参加。知的財産について学び、イカダ型水車で特許出願に挑戦しようとパテントコンテストに応募した。1年の細石樹成さん(15)は「たくさんの人の協力で開発を進めている。取得に向けて頑張りたい」と意気込んだ。

1月から弁理士と出願に向けた打ち合わせを進める。同校は2014年にも同コンテストを活用して特許を取得している。

(安田葉冬)

パテントコンテストで優秀賞を受賞した「DAIKO水車プロジェクト」のメンバー。大分市の大分工業高

